

技術者
スピリッツ

20代の2人が 東関道を造っています

経験4年と1年の2人が、互いに成長しています
一緒に土木の達成感を味わおう



◎担当技術者 近藤 貴広(経験1年)
父が技術者として橋や道路を造るのを見ていたので、自分で造った道路を好きなバイクで通ってみたら気持ちいいだろうなと思い、土木技術者になりました。
そして去年、丸本先輩とともに圏央道工事完成の喜びを味わいました。開通後に自分で造った圏央道をバイクで走りましたが、最高の気分でした。
社会インフラ整備の一端を担っていることが現在の私の誇りです。



◎現場代理人 丸本 雅之(経験4年)
入ったころは何もわからなかった私ですが、監理技術者の石橋さんから現場技術者としての基礎を教わり、今では自分が後輩を指導するまでになりました。
後輩の手本となるよう日々頑張っています。休日は、バレーボールの指導をしています。



業務内容

山を切り開き仮設進入路を造った後、既存の市道にボックスカルバートを造り、調整池では地盤改良をしています。



私達のスピリッツ

【丸本】現場のことは全部任せてもらえるよう、所長や作業員、そして後輩にも頼られ信頼される技術者を目指しています。

【近藤】学校では得られなかった色々なことを体験し、ひとつずつ覚え、丸本先輩に頼られる技術者を目指しています。



常総国道事務所と、東関東自動車道水戸線の整備をしています

東関道小高地区函渠工事

石井互業株式会社

担当技術者 近藤 貴広(25)
現場代理人 丸本 雅之(27)